

大学での言語授業においてモバイルデバイスを使用する利点とマイナス面

ロバート・シャテラン

近年のタブレットコンピューターや携帯電話などのテクノロジーの躍進により、こうしたデバイスは現在広く使用されている。こうしたデバイスを学習者の学ぶ手段として提供し、使用することに興味を示している言語教師も多い。オンラインで、電子書籍やインターネットからの情報を読む、音楽を聞く、ビデオを見るといった行為は、全て言語学習者をサポートするアクティビティにつながる。しかしながら、言語授業でモバイルラーニングを行う際、多くの問題点も発生している。例えば、スクリーンが小さいために、内容が読みづらい、オンラインキーボードでのテキスト入力が困難であるといった問題点や、インターネットやハードウェアへのアクセスが難しいといったテクニカルな問題もよく見かける。さらに、与えられた課題に集中しない学生達への対処法などのクラスマネジメントの問題も発生している。この論文では、大学における言語授業におけるモバイルデバイスの使用の利点とマイナス面について論じてみたい。